

# 宮島におけるエコツーリズムの普及・

## 定着に資する情報提供施設整備の検討

株式会社 建設技術研究所 大阪本社環境室 主幹 牧 俊行

### はじめに

近年、自然環境の保全に配慮しながら、地域の創意工夫を生かした新しい観光スタイルであるエコツーリズムが全国で展開されている。エコツーリズムの普及・定着を推進するため、環境省では基盤施設整備や地域活性化などハード面・ソフト面でのさまざまな支援を行っている。

当社では、平成二三～二四年度に、瀬戸内海国立公園宮島地域におけるハード面での施策として、エコツーリズム基盤施設整備とその一環である情報提供施設整備の検討に携わる機会をいただいた。本稿は、これらの業務の調査、検討内容について一部紹介したい。

### 一、宮島の利用形態と自然環境

瀬戸内海国立公園はわが国を代表する多島海風景地で、その一つである宮島は、島全体が国立公園と国の特別名勝・特別史跡に指定され、世界文化遺産にも登録されるが、天然記念物の原始林、ミヤジマトンボの生息、ラムサール条約登録湿地など、多様で希少な自然環境を有した地域でもある。

一方、宮島は年間四〇〇万人（平成二四、二五年調査）を超える国内有数の観光地で、外国人旅行者も多い。しかし、その多くは厳島神社を中心とする参詣者や水族館等への一般観光客が占めており、宮島特有の文化により維持されてきた自然環境が十分に周知・活用されているとはいえない状況

である。そのため、宮島の優れた自然環境や歴史文化を保全しつつ、それらを活用・体験できるエコツーリズムを普及・定着させ、地域活性化や環境保全に寄与する仕組みを構築することが望まれる。

### 二、エコツーリズムの普及・定着に資する基盤施設整備

宮島では、シーカヤックやハイキング等の自然体験ツアーがNGOや民間事業者によって既に実践されているが、豊かな自然資源や歴史文化資源を活用したプログラムは今後さらなる展開が期待できるといえる。これらをハード面から支援していく施策として、活動に必要なさまざまな基盤施設整備が考えられるが、中でも国立公園としての宮島の自然環境について、国内外に広く知ってもらうための情報提供施設（標識、ガイドマップ、ホームページ等）の整備が、現在検討すべき重要な施策として位置付けられた。

### 三、情報受発信の現状と課題

宮島における観光情報の発信状況を調査した結果、標識、ホーム

ページ、パンフレット等、多様な主体・媒体により多くの情報が発信されていたが、自然環境やそれらの体験方法については、海外を含めて多くは紹介されていなかった。

具体的なニーズを把握するために、弥山の登山道にて情報受発信に関するアンケート調査を実施した。その結果、利用した媒体および今後充実を望む媒体として、多くがウェブサイトを選択したが、外国人旅行者は現地配布のパンフレット類にも期待していることが分かった。また、充実してほしい情報内容としては、分かりやすい解説、テーマ・興味別の詳細な解説、位置情報や所要時間等が上位にあげられた。（図1、図2参照）

これらの調査結果や既往データ等を踏まえ、自然資源に係る情報提供施設整備に向けての課題として、「情報媒体の充実による周知」「情報内容の充実による魅力向上」「情報の再整理と連携による効果的な情報提供」「多言語化によるインバウンド対応」等が抽出された。

### 四、情報提供施設整備の検討

これらの課題を踏まえ、情報利

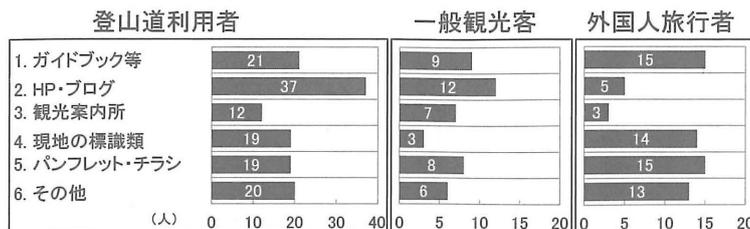


図1 充実してほしい情報媒体(現地アンケートより)

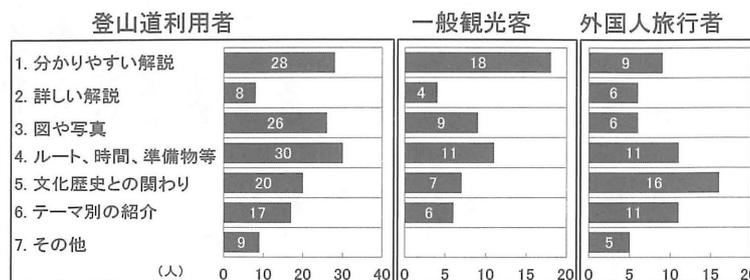


図2 充実してほしい情報内容(現地アンケートより)



図4 現地モニタリング会標識のモックアップを作成し、現地でデザインやスマートフォンとの連携等を確認した

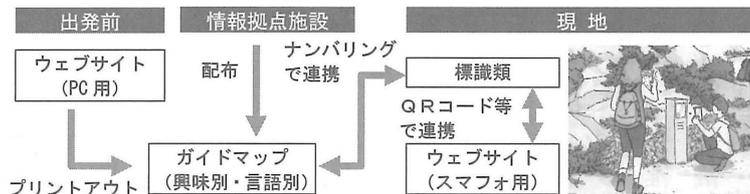


図3 情報提供施設の相互連携イメージ

用の場面と必要な内容等を考慮し、各施設の相互連携による効果的な情報提供(図3参照)を目指した整備の検討を行った。検討は、有識者や関係機関、関係行政機関による検討会等を通して、いただいた意見やアドバイスを反映しながら進め、宮島におけるエコツーリズムの普及・定着に資する情報提供施設整備の基本設計として取りまとめた。

①標識類の検討ポイント

- ・各種標識の整備。既存標識の統

合・整理による景観の保全。標高や距離の表示、英語併記やピクトグラムの併用。標識のナンバリングによる、ガイドマップとの位置情報の連携。QRコード等による、ウェブサイトとの連携。

②ガイドマップの検討ポイント

これらの情報提供施設の整備に当っては、関係する行政機関や団体等との連携、調整を図りながら進めていく必要がある。ガイドマップについては、中国四国環境事務所のホームページにて公表されているので、ぜひ新たな視点で宮島を訪れていただきたい。

<http://chushikoku.env.go.jp/>

③ウェブサイトの検討ポイント

- ・動植物や地形地質など、興味別の体験ができるお勧めモデルコースの設定。
- ・体力や時間に応じた選択情報(難易度、距離、所要時間、高低差等)の掲載。
- ・宮島の魅力や資源の分かりやすい紹介。
- ・自然保護との両立を図るための注意、啓発事項の記載。
- ・外国人旅行者のための多言語版。(宮島は欧州からの旅行者が多く仏語、独語も必要)
- ・出発前から現地まで活用できるサイトの構築。(PC版、スマートフォン版)
- ・ガイドマップのダウンロード。
- ・世界への魅力発信を視野に入れた多言語版。

[nature/miyajima\\_guide\\_map/index.html](http://nature/miyajima_guide_map/index.html)



本稿では、エコツーリズムの普及・定着に資するハード施策の検討を紹介したが、別途試行しているソフト施策をはじめ、環境保全とのバランスや地域活性化への貢献等を踏まえた基盤施設整備を進めていくことが重要である。

自然環境の保全や再生、賢明な利用は、持続可能な社会の構築に必要不可欠であり、今後も当社の幅広い専門性と総合力、発想力を活かした提案、検討を行っていきたい。

最後に、本業務の実施および本稿掲載についてご指導、ご理解いただいた環境省中国四国地方環境事務所および関係者の方々に深く感謝を申し上げます。

牧 俊行 ● まき としゆき  
株式会社建設技術研究所 大阪本社環境室 主幹。技術士(総合監理部門、環境部門、建設部門)。主に自然公園や公共空間の環境整備、自然再生、ランドスケープに係る計画、設計業務に従事。(会社概要) 日本で最初の建設コンサルタント。社会資本整備や環境保全における調査、計画、設計、事業執行マネジメント業務など幅広い領域で業務を展開。